

モニタリング結果報告書

施設 相模湖漕艇場

指定管理者 特定非営利活動法人神奈川県ボート協会

施設所管課 スポーツ課

(平成 23 年度 上半期)

管理運営状況総括

今期の指定管理者の管理運営状況（1～9の結果を踏まえ、判定してください）

B

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月11日	5月31日	月報により適正に行われていると認められる。
5月	6月10日	6月23日	同上
6月	7月11日	7月22日	同上
7月	8月12日	8月26日	同上
8月	9月9日	9月29日	同上
9月	10月11日	10月21日	同上

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

<提案内容の概要>

シーズン中（春・夏期）の漕艇場の無休化及び開場時間の拡大を実施する。

<実施状況>

利用促進のため、4月1日から9月30日までは原則無休とし、開場時間についても利用者の要望及び安全を考慮し、シーズンに応じた開場時間の拡大を図った。

【開場日】

4月1日(水)～9月30日(水) 8月1日(月)以外無休(8月1日は相模湖花火大会のため休場)

【開場時間】

該 当 期 間	条例に定める 開場時間	臨時に変更する 開場時間	理 由
平成23年 4月1日(金)～4月30日(土)	午前8時30分 ～午後5時	休日及び平日で利用者の希望があった場合	シーズン中の 利用促進
平成23年 5月6日(木)～7月8日(金) 9月1日(木)～9月16日(金)	午前7時～ 午後7時	平日で利用者の希望がない場合 午前6時30分～午後7時30分 午前8時30分～午後7時30分	
平成23年 5月1日(日)～5月5日(木)	午前7時～ 午後7時	午前6時30分～ 午後0時	遊船業者との 湖面利用調整
平成23年 7月9日(土)～8月31日(水)	午前7時～ 午後7時	午前6時30分～ 午後7時30分	シーズン中の 利用促進
平成23年 9月17日(土)～9月30日(金)	午前7時～ 午後7時	休日及び平日で利用者の希望があった場合 午前6時30分～午後6時30分 平日で利用者の希望がない場合 午前8時30分～午後6時30分	日没時間による調整

<提案内容の概要>

艇庫保管艇の無料メンテナンスサービスを実施する。

<実施状況>

- 4月：艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
- 5月：横浜商業高校の艇の修理サービスを実施した。
- 6月：杏林大の艇の他、艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
- 7月：艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
- 8月：艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。
- 9月：艇庫に保管されている艇の修理サービスを実施した。

※艇庫保管艇数 約170艇(4/1現在)

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	21,408 (21,408)	19,627 (19,627)	1,781 (1,781)		21,408 (21,408)	0
上(下)半 期予算額						
4月	1,897	1,539	358		1,513	384
5月	1,696	1,518	178		1,492	204
6月	2,038	1,862	176		1,981	57
7月	1,706	1,458	248		1,486	220
8月	1,618	1,458	160		1,518	100
9月	1,703	1,590	113		1,575	128
今年度 半期計	10,658	9,425	1,233		9,565	1,093
前年度 同期計	10,615	9,565	1,050		10,053	562

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①該当なし

②上半期の収支差額については、3月の大震災以降の節電により前年に比して減額効果が出たこと等があげられる。

③該当なし

<参考>

本施設について県が支出した(する)修繕費等

⇒該当なし

10万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。

2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	—	—
下半期	—	—
総額	—	—

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

⇒該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・	
	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>水上でのスポーツであることからコース、艇の管理、水上の見回り等を行いながら常に利用者の安全に心がけた。また、春先から大雨や台風による流木が頻繁に湖上を浮遊したため、保管艇や県有艇（貸出艇）の破損が多かったがその都度修理をして練習に支障がないように努めた。</p> <p>3月の大震災後節電対策が出され当漕艇場も節電に取り組み利用者にも協力を呼び掛けた結果、目標が達成できた。</p> <p>7月には利用者アンケートを例年と同様に実施。意見を聴く中で改善（コース内のブイ等）できるものは改善し、利用者の希望を取り入れている。</p>
施設所管課	<p>昨年度と比べ、定期的なリピーターや大会開催が多く、利用人数が昨年度上半期と比較すると増加しており、指定管理者の努力の成果が表れている。また、事故等もなく安全に管理されており、苦情も報告されていないことから、利用者との良好な関係が保持されていることが窺え、全体として適正な管理運営が行われていると考える。</p> <p>冬場は例年利用人数が少なくなるため、利用者が増加する取組み等利用促進が図られることを期待したい。</p>